

令和5年度北見工業大学後援会  
「KIT げんき会」総会資料

# 目 次

1. 議事次第	1
2. 令和5年度役員名簿(案)	2
3. 令和4年度事業実施報告書	3
・ 学生に対する支援	
(1) 語学研修プログラム参加旅費の助成	4
(2) 協定校へ留学する学生の生活費の助成	13
(3) インターナショナルCアワー開催の助成	15
(4) 留学生交流イベントの助成	16
(5) 就職支援助成	18
(6) 参考図書購入の助成	20
・ 大学広報等への支援	
(1) 女満別空港広告看板掲出料の助成	22
・ 学生支援イベントへの補助	
(1) フードバンクへの助成	23
4. 令和4年度決算書	24
5. 監査報告書	25
6. 令和5年度事業計画書(案)	26
7. 令和5年度予算書(案)	27
8. 規約	28
9. 令和4年度KITげんき会法人会員名簿	30

# 議 事 次 第

## 1. 開会

## 2. 挨拶

(1) 北見工業大学後援会「KIT げんき会」会長

(2) 北見工業大学長

(3) 北見市長

## 3. 議事

(1) 役員の一部改選について

(2) 令和4年度事業報告、決算報告について

(3) 令和5年度事業計画（案）、収支予算（案）について

(4) その他

## 4. 閉会

北見工業大学後援会「KITげんき会」  
令和5年度役員名簿（案）

- 顧問 辻 直 孝（北見市長）  
" 鈴木 聡一郎（北見工業大学学長）
- 会長 舛 川 誠（オホーツク商工会議所協議会会長・北見商工会議所会頭）
- 副会長 林 正 道（北見鉄工協同組合理事長）  
" 渡 部 徳 章（北見商工会議所中小企業委員会委員長）  
" 大 坪 広 則（きたみらい農業協同組合代表理事組合長）  
" 吉 田 茂 夫（北見医師会会長）  
" 橘 邦 彦（北見工業大学同窓会顧問）
- 常務理事 榮 坂 俊 雄（北見工業大学副学長）
- 理事 森 山 雅 史（北見歯科医師団団長）  
" 佐 藤 邦 弘（北見ぼらんち会会長）  
" 田 村 友 朗（北海道中小企業家同友会オホーツク支部支部長）  
" 片 山 隆 文（北見信用金庫理事長）  
" 河 合 昭 徳（日本自動車販売協会連合会北見支部支部長）  
" 篠 尾 和 孝（北見舗装協会会長）  
" 新 井 俊 俊（北見薬剤師会会長）  
" 辻 好 治（北見市観光協会代表理事）  
" 内 海 和 彦（北見測量設計協会会長）  
" 永 田 裕 一（北見物産協会会長）  
" 五 十 嵐 龍（北見建設業協会会長）  
" 中 地 大 介（北見金融協会会長）  
" 増 田 悦 郎（北海道獣医師会オホーツク支部支部長）  
" 真 柳 正 裕（北見市商店街振興組合連合会理事長）
- 監 事 小 澤 實之郎（日本赤十字社北見市有功会会長）  
" 有 田 敏 彦（北見工業大学同窓会長）

（順不同：敬称略）

北見工業大学後援会「KITげんき会」  
令和4年度事業実施報告書

事 業	摘 要
1 会 議	
1) 総 会	書面審議として開催
2 支援事業	
1) 学生に対する支援	<p>語学研修プログラム参加旅費の助成 ・フィリピン×2人 ・台湾×7人</p> <p>協定校へ留学する学生の生活費の助成 ・ポーランド（アダムミツキェヴィチ大学）×1人</p> <p>留学生派遣の助成 （地域の各種団体等への留学生の派遣） ※令和4年度は実績なし</p> <p>インターナショナルCアワー開催の助成 ・計10回開催</p> <p>留学生交流イベントの助成 ・令和5年2月15日(水)開催</p> <p>就職支援助成（地元企業合同セミナー） ・令和5年2月15日(水)開催</p> <p>学生表彰 ※令和4年度は受賞対象者なし</p> <p>参考図書購入の助成 ・計12冊購入</p>
2) 大学広報等への支援	女満別空港広告看板掲出料の助成
3) 北見ぼんちまつり参加への支援	※北見ぼんちまつり規模縮小のため、 事業の実施なし
4) 学生支援イベントへの補助	<p>フードバンクへの助成 ・令和4年10月21日(金)、22日(土)開催</p>

## 令和4年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

### 1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（フィリピン）

### 2 事業の概要

研修先	エンデラン大学（フィリピン）
研修期間	令和5年2月19日～令和5年2月25日
助成対象・金額	5万円

### 3 助成対象者報告

所属学科・学年	地球環境工学科・1年
氏名	大宮 柊
報告	<p>今回の留学は期間が1週間でしたので、授業の日程は5日間でした。授業は午前中に3時間のグループ授業と午後2時間半のマンツーマンの授業をしました。授業のほとんどを通して、スピーキングの能力を伸ばすための授業で日本の授業では鍛えられない能力を鍛えることができました。高校までも英語の勉強に力を入れていましたが、テストの点数以外のことで自分の英語力を知ることができませんでした。ですが、今回の留学で自分が実践的に外国人と英語でコミュニケーション取れるということを実感して、今までの努力が結ばれた気がして、とてもうれしかったです。授業以外での活動もとても刺激的でした。授業が終わった後にタクシーを使って、色々な場所に行ったりもしました。そこででの体験はとても新鮮でした。時にはトラブルが発生した時も英語を使って、問題を解決したりもしました。留学前と比べて、問題解決能力と英語を話すことに対する前向きさが飛躍的に進歩したと思います。</p>

謝 辞	助成金本当にありがとうございます。私は今回の経験を通して、さらなる飛躍を目指して、日々学業などに精進したいと思います。今後も積極的に留学などの国際的な活動に取り組みたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いします。
-----	--

所属学科・学年	地域未来デザイン工学科 2 年（情報デザイン・コミュニケーション工学コース）
氏 名	山田 怜矢
報 告	私は今回エンデラン大学及びフィリピンへの研修で様々な体験をすることができました。学校での授業では朝から夕方まで英語でのグループディスカッションや先生との 1 対 1 のコミュニケーションの授業など日本での授業よりも実践的で身に付く内容でした。特に私は自身のリスニング能力が飛躍的に向上したと思っています。出発時にはあまり聞き取れなかった機内アナウンスや初日の寮のフロントの方の話などは普通に聞き取れるまでに成長しました。フィリピンの市街では、どこへ行っても日本人と伝えると歓迎の雰囲気などを感じられ、フィリピンの人の友好的な部分を感じました。寮の位置が比較的富裕層向けの立地だったことから、歩道橋1つで住んでいる人がはだして歩いているなど、日本に居てはあまり感じられない経済的格差のようなものを強く感じました。1週間という短く感じるような期間でしたが実際に行くまでは想像もできないほど毎日が刺激に満ちていて自身の飛躍的な成長が感じられる充実した1週間でした。
謝 辞	今回のフィリピンへの語学研修は、普段何気なく日本で生活しては得られない経験と新たな価値観との出会いで満ちた非常に有意義な経験ができる場でした。研修のために助成をいただきありがとうございました。

令和4年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

- 1 実施事業名  
語学研修プログラム参加旅費の助成（台湾）

2 事業の概要

研修先	中国医薬大学（台湾・台中市）
研修期間	令和5年3月18日～令和5年3月24日
助成対象・金額	5万円

3 助成対象者報告

所属学科・学年	地球環境工学科・1年
氏名	斎藤 陽仁
報告	<p>私が今回語学研修に参加した理由は、大学在籍中にさまざまな体験をしたいことと、日本に近い台湾に興味があったからです。私は第二言語で中国語を履修しており、現地の人との実際の会話は新鮮でした。初めての中国語を現地で使うこともあり、簡単な会話ではありますが、相手に伝わった時は感動を覚えました。しかし、長い会話の時に相手に自分の意思が伝わらないことがしばしばあり、海外でコミュニケーションをとる大変さを改めて感じました。</p> <p>現地の人や食べ物、建造物はとても興味深かったです。例えば台湾の夜市は日本のお祭りのようでとても賑わっていました。台湾で食べたものは美味しく、臭豆腐や地瓜玉など日本では食べられないものを食べることも出来ました。また、今回の研修で英語の重要さを改めて感じました。中国医薬大学の学生さんはとても英語が上手で、ほとんどの人が話せていました。英語があまり話せない自分は不甲斐なさを感じたので、さらに英語を学ぶモチベーションが上がりました。</p> <p>今回の研修の体験と交流は私にとって多くの事を学び、影響を受けました。台湾での貴重な経験をこれからも忘れず、生かしていこうと思います。</p>



謝 辞	<p>今回は助成金をいただき、このような素晴らしい研修に参加でき、誠にありがとうございました。皆様のお陰もあり、この研修で台湾の文化、言語、歴史を学ぶことができました。また、台湾の方々とのとても楽しい思い出を作ることができました。この経験を生かし、更なる異文化交流をしていこうと思います。</p>
--------	--

所属学科・学年	地域未来デザイン工学科・1年
氏名	奈良原 誠也
報告	<p>私が今回の研修の中で、一番実感したことは台湾の夕食文化である。台湾人は自炊をしないということを以前から知っていたが、体験するとより実感した。とにかく安いのだ。自炊と外食で費用の差がほとんどないという。実際、自炊はするのかとお世話になった台湾の学生に聞いてみたところ、料理は出来るが、基本しないと言っていた。また、そのために屋台といった飯屋がとても多い。したがって競争率も高いのだろう、引き込みもすごい。</p> <p>他にも日本の市場の流入が驚くほど多かった。コンビニや飲食チェーンなどよく見ることがあった。夕食文化によるものと予想した。しかし、台湾は以前日本に統治されていた時代がある。だからこそ、日本に対して悪い印象があるのかも思っていたが、少なくとも本研修においては杞憂だった。見る限りでは台湾では日本のものを良いものとして取り入れているようだった。私が行った温泉街というものもその一つだろう。</p> <p>以上から今回の研修での一番の成果は台湾の文化の形成を見て聞くことで、より理解することができたことである。</p>

謝 辞	<p>KITげんき会会員のみなさま、今回は5万円という多額の助成金をありがとうございました。私は今回初の海外ということでしたが、参加するに当たり不安もとても大きかったです。このような研修に参加するという大きな決断をすることができたのはこの助成金があったためです。日本では絶対に体験することはできなかつたらう様々なことを経験することができ、海外に対する見方や、物事を見る際の視野がとても広がったように感じています。</p> <p>最後に改めて、これらの貴重な体験をすることができた本研修に対するご支援を、本当にありがとうございました。</p>
-----	--

所属学科・学年	地域未来デザイン工学科・1年
氏 名	田中 彩也香
報 告	<p>この研修に参加するにあたって、現地の大学生の方々との交流を通して異文化を理解するという目標がありました。これまでの勉学を生かして、現地の方と微力ながらコミュニケーションをとることができました。彼らは、私たちに台湾の食べ物や文化、ルールをたくさん教えてくれました。日本とは全然違う南国のフルーツや地元の人に愛されている夜市のソールフードなど目新しい物ばかりで様々な発見がありました。また彼らの中国医薬大学を訪問し、中国語を学びました。今まで馴染みのなかった中国語を基本的な発音から実践的な会話まで学ぶことができました。</p> <p>実際に現地に赴くことで発見したことは、日本の台湾統治の影響が大きいということです。街に出てみると、日本の看板や商品が多くあり年齢層が上の方が使う台湾語では日本の単語の発音とよく似た単語が存在するという事です。街並みも明治時代の建物が存在していてとても感銘を受けました。日本と東南アジアの雰囲気을合わせ持つ台湾という国にさらに興味を持つことができたとても有意義な研修でした。この経験を忘れずに、日々勉学に勤しんでいこうと考えます。</p>
謝 辞	<p>KIT げんき会会員様の助成により、今まで経験したことのないかけがえのない体験と知識を得ることができました。今回の研修で日々の勉学の意欲が増し、さらなる自身の成長に繋がっていくと強く決心することができました。このような素晴らしい機会をいただいたこと、心より御礼申し上げます。</p>

所属学科・学年	地域未来デザイン工学科・1年
氏名	西村 美春
報告	<p>私は元々海外に興味があり、大学在学中に様々な経験をしたかと思っていたので本研修に参加しました。中国医薬大学の学生さんに台湾の食事ルールや交通事情、学生さんが今研究している研究内容などを教えてもらいました。日本と違うところが沢山あってとても面白かったです。しかし、それと同時にもっと自分が英語や中国語を理解できていたら良かったのかと思うことが多々ありました。聞き覚えのある単語も意味が思い出せなかったり、日本語を話せない学生さんとはほとんど会話をすることが出来なかったりと自分の勉強不足を痛感しました。そして英語や中国語を勉強するモチベーションになりました。</p> <p>台湾の学生さんに日本の食事ルールについて質問されましたが、曖昧な答えしか返すことができませんでした。台湾について沢山知ったと同時に、自分は日本について全然知らないなということに気がつきました。</p> <p>今回の語学研修で貴重な経験が沢山でき、参加できて本当に良かったです。今後も国際交流の活動に参加したいと思いました。</p>
謝辞	<p>この度は語学研修プログラム参加旅費の助成をしていただきありがとうございました。海外の学生さんと交流することは、私にとってとても貴重な経験になりました。本研修で得たことを今後に活かしていきたいと思えます。</p>

所属学科・学年	地球環境工学科・2年
氏名	深澤 新碧
報告	<p>私は本研修に参加することによって、大きく成長するとともに、自分の実力を知ることができた。今までは、培ってきた英語を発揮する機会は非常に少なかったため、自分の英語がどの程度まで通用するのか未知数であった。しかし、本研修で中国医薬大学の学生と会話するにあたって、ある程度自分の英語力が分かった。一般的な簡単な会話はできるが、話の内容を詰めていって詳しく話そうとすると、単語が思いつかない。知っている簡単な単語でカバーしようと思えばできるが、パッと会話を進めることができないというのが、とても悔しかった。これを機に、改めて英語の勉強をしようかと決意した。</p> <p>また、成長できた点もあった。私はどちらかというと恥ずかしがり屋なので、人にもものを尋ねるのは、あまり得意ではなかった。でも、本研修を通して、日本語以外の言語で自分の意志を伝える楽しさを知る事ができたため、何の躊躇もなく話しかけることができた。これは他の人にとっては小さな一歩かもしれないが、私にとっては、とても大きな一歩であった。</p>
謝辞	<p>この度は、本研修の旅費の助成をして頂き誠に感謝申し上げます。本研修を通して、たくさんの学びを得て、成長する事ができました。この経験を忘れず、これからの人生に活かしてまいります。改めて、KIT げんき会会員の皆様には厚く御礼申し上げます。</p>

所属学科・学年	地球環境工学科・3年
氏名	三留 大和
報告	<p>今回の台湾語学研修で得られた成果は色々あった。一つ目は台湾の学生との交流だ。台湾学生は本当にやさしく色々してくれた。店で買い物をするときの通訳やバスの乗り方、タクシーの手配、わからないことの説明など数えきれないほど色々していただき感謝している。また今回関わった台湾の学生は語学力が高いなと感じた。台湾の学生は中国語はもちろん</p>

	<p>ん、英語も流暢に話し、日本語も日常会話では問題ないほどのレベルの高さだった。自分は英語は日常会話レベルでは話すことができるが、今まで聞く話す練習はしていなかったため聞きなれていない単語が出くると聞きなおし理解することができなかつたり話すのでも発音がうまくないため伝わらなかつたり文章をうまく作れなかつた。自分の語学力の低さを改めて実感したいい機会だった。</p> <p>二つ目は台湾の文化だ。まず台湾に来て驚いたのがどこも香辛料のような香りがすることだった。台湾の料理はどれも香辛料が使われているためどこでも香辛料の香りがした。また先ほどにも書いたが台湾人は国民の約 8 割が英語を話せるそうだ。理由としては小学校の時から英語を勉強しているためだそうだ。また台中と台北の都市を回って台湾は都市によって格差があるのかなと感じた。台中では古めのビルが多くて歩道があまりなく、なによりバイクの数が圧倒的に多かった。それに対し台北ではバイクはもちろん多いのだがビルは新しく歩道もしっかりあり日本の大都市とそんな色がないように感じた。</p>
謝 辞	<p>この度は助成金をいただきありがとうございます。この台湾の研修はとても素晴らしい経験になりました。これからの大学生活ではさらに語学力を上げようと思いました。</p>

所属学科・学年	地域未来デザイン工学科・3年
氏 名	阿部 駿一
報 告	<p>私がこの研修で学んだことは、まず台湾の人達のやさしさと対応の早さです。お土産屋さんや夜市の屋台ではまず台湾語が通じないとわかったらすぐに英語に対応してくれます。そして一部の店では日本語で対応してくれる店もありました。言葉が通じないからと言って毛嫌いせず耳を貸してくれたことに台湾の人の国民性を感じました。</p> <p>そして、現地の言葉を話す大切さです。台中市ではとても日本語が上手なチューターがついてくれていたので、言葉の壁を感じることはありませんでしたが、台北市ではチューターなしで行動したため、日本語が全く通じないことに不安を感じました。しかし、対話する際に少しの自己紹介でも中国</p>

	<p>語で話すことで迎え入れてもらえたように感じました。そのため現地の言葉を話すことは、海外でのコミュニケーションで最初の壁を壊すためにとても重要であると思います。</p> <p>今回の研修でいろんな人や文化に触れることができ、台湾だけでなくほかの国に興味を持つきっかけになりました。次に海外に行った際はもっとコミュニケーションが取れるように語学の勉強に勤めます。</p>
<p>謝 辞</p>	<p>今回は助成金をいただき、このような貴重な経験をさせていただきありがとうございます。この研修に参加できて本当に良かったです。この研修で学んだことを生かしてさらなる国際交流をしたいと思います。本当にありがとうございました。</p>

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

協定校へ留学する学生の生活費の助成（ポーランド）

2 事業概要

留学先	アダムミツキェヴィチ大学（ポーランド）
留学期間	令和4年10月3日 ～ 令和5年7月9日
助成対象・金額	100,000円 ※報告書①提出後に半額を支給、報告書②提出後に残りの半額を支給。

3 助成対象者報告

所属学科・学年	地球環境工学科・3年
氏名	松村 駿作
報告	<p>①ポーランドに来てから1カ月が経過しました。一人で海外に行くこと自体初めての経験で出発日の数週間前から漠然とした不安を抱いていて情緒不安定な状態が続いていました。ですが何の問題もなく日本からポーランドのポズナンまで到着することができました。日本と時差が8時間（サマータイムは7時間）あるので慣れるまで時間がかかるかと思っていましたが飛行機内ではずっと寝ていたりしたのでそこまで時差の影響を感じませんでした。現地についてから数日は日本語の話せる知り合いに手伝ってもらえたので苦労はそこまでしませんでした。ですが日本語の話せる知り合い以外とは基本的に英語で会話することになるので大変です。授業内容や寮費の支払いも英語なので何度も聞かないと理解できません。発音の仕方が国によって違うので聞き取りやすかったり聞き取りづらかったりするからです。毎日思ったことが伝えられなかったりしてつらい時も多いですが楽しいです。まだ慣れていなかったりわからないことも多いですがたくさんのおかげで留学できていることを忘れず頑張っていきたいです。</p> <p>②ポーランドに留学して4カ月が経ちました。11月の中旬に1週間ほど体調を崩しましたが、それ以来体調を崩さず過ごせ</p>

	<p>ています。先日今学期の授業がすべて終わりました。授業は5つ取っていて1つ筆記試験、4つプレゼンテーションで成績が決まる授業でした。すべての授業に受かることはできましたが、プレゼンテーションは日本であまりやったことが無くて大変でした。英語で発表するのは初めてで、全然ダメで生徒や先生からの質問にうまく答えられなかったです。日常生活でもそうですが、終わってからもう少しうまく言えたなと反省する毎日です。次学期の授業もたくさんプレゼンテーションがあると思うので、今学期で学んだことを活かしていきたいです。生活面では大学で仲良くなった友達と旅行に行ったりバーに行ったりしています。みんな話しかけやすくて優しいです。自分のほとんどの友達は半年で帰ってしまう学生が多く、1年間留学する人は少ない印象です。2月から新しい学生たちと生活することになりますが、楽しみです。</p>
<p>謝 辞</p>	<p>①ポーランドに留学するにあたり、多くの方々にご指導ご鞭撻を賜りました。2022年度KITげんき会様の助成金交付により留学が行くことができました。この場を借りて深く御礼申し上げます。</p> <p>②自分がポーランドに留学できていることが当たり前だと思わず、たくさんの方々によってできていることを忘れず、毎日を大切に過ごしていきたいと思えます。2022年度KITげんき会様にこの場を借りて深く御礼申し上げます。</p>



# 令和4年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

## 1 実施事業名

インターナショナルCアワー開催の助成

## 2 事業の概要

留学生が本学の学生・教職員のみならず市民との交流の場を持つことにより、国際交流の促進を図る。

様々なプログラムを通して、留学生が日本文化への理解を深めることや、日本人参加者が異文化について学ぶことを目的としている。

## 3 開催報告

- 第 1回 大阪人の食卓（2022年5月26日開催）
- 第 2回 国際交流カーリング（2022年6月3日開催）
- 第 3回 国際交流カーリング（2022年7月4日開催）
- 第 4回 音楽を通して見えた日本と外国（2022年7月6日開催）
- 第 5回 スイカ割り（2022年7月28日開催）
- 第 6回 国際交流カーリング（2022年11月16日開催）
- 第 7回 カーリングを通じた国際交流（2022年11月23日開催）
- 第 8回 世界の音楽に親しもう！（2022年12月7日開催）
- 第 9回 国際交流カーリング（2022年12月19日開催）
- 第10回 短期留学生による北見生活の感想プレゼンテーション / 留学生と共に学ぶ防災～避難所と外国人編～（2023年2月15日開催）

## 4 謝辞

インターナショナルCアワーを開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、全10回を盛況のうちに終了することができました。

これも皆様のご支援あってのことと国際交流センター関係者一同、感謝いたしております。皆様からのご支援により、カーリング場使用料、食材、講師への謝金等を支出させていただきました。そのおかげで、留学生と市民、日本人学生を含めた交流を促進し、異文化理解を深めることができたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 1 実施事業名

留学生交流イベントの助成

### 2 事業の概要

外国人留学生と教職員との交流を図る。

### 3 参加者の様子

令和5年2月15日（水）、本学生協食堂において、留学生との交流イベント（留学生交流会）を開催しました。

新型コロナウイルスの状況がまだ落ち着いていないため、令和5年3月に卒業・修了する留学生（令和4年9月卒業・修了者含む）と教職員のみで開催しました。

はじめに本間国際交流センター長からの挨拶があり、引き続き、短期交換留学生3名によるプレゼンテーション、卒業・修了留学生によるスピーチ、教職員からの挨拶、渡邊副学長から短期交換留学生2名に修了証書の授与が行われました。

新型コロナウイルスの影響により対面でのイベントが制限されている中、参加した留学生は、いつもお世話になっている教職員や留学生との会話に花を咲かせ、和やかな雰囲気の中に閉会となりました。



#### 4 謝辞

留学生交流イベント（留学生交流会）を開催するにあたり、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。このような交流会を開催することができたのは、ひとえに皆様のおかげと国際交流センター関係者一同、心より感謝申し上げます。

皆様からのご支援により、昼食を用意させていただきました。おかげをもちまして、参加者全員にとって心に残る交流会を提供できたことと思っております。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

就職支援助成（オホーツク合同企業セミナー）

2 事業の概要

人材確保が課題となっているオホーツク地域の企業と、本学学生や地元専門学校生等の出逢いの場を提供し、人材を確保するとともに地域経済の活性化を目指す。

3 参加者の様子

○オホーツク合同企業セミナー

令和5年2月15日（水） 本学第二体育館

本学、オホーツク商工会議所協議会、北見市（北見市若者就活応援センター）、そしてKITげんき会との共催で、オホーツク合同企業セミナーを開催しました。オホーツクの企業・団体が一同に机を並べ、参加学生が興味のある企業へ立ち寄りブース形式で実施し、北見市を含む近隣5市町から43社（団体）、2024年3月卒業・修了予定の本学学生や専門学校生ら約20名が参加しました。

参加した学生からは「様々な企業の話を知ることができた」、「オホーツクの企業について知ることができた」など本セミナーが大変参考になったとの声がありました。



#### 4 謝辞

オホーツク合同企業セミナーを共催で開催していただき、心から感謝申し上げます。皆様からの御協力により、学生と地元企業との出逢いの場を提供することができました。

この事業を推進することにより、本学とオホーツク管内企業との相互理解及び今後オホーツク地域への人材創出に繋げていければと思っておりますので、今後とも、御協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## 令和4年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 情報図書課

### 1 実施事業名

参考図書購入の助成

### 2 事業の概要

図書館に配架している参考図書で新版が出版されたものや、利用が見込まれる新規の参考図書を情報図書課内で選定し、購入した。

### 3 購入図書一覧

別紙のとおり

### 4 謝辞

この度は皆様からの御厚志により、学生向けの参考図書の充実を図ることができました。今回購入した事典やハンドブックを本学図書館に配架することで、本学学生への教育や学習支援に有用となっております。この場をお借りして感謝を申し上げます。

北見工業大学では学生のみならず、地域住民の方にも快適に図書館を御利用いただけるよう努めております。今後もより一層開かれた大学作りを目指し、地域の皆様に必要とされる図書館となるよう努力してまいりますので、今後とも御支援のほどよろしく願いいたします。

令和4年度購入 参考図書一覧

書 名	数量	金額(税込)
化学品ハンドブック	1	9,108
原子炉水化学ハンドブック (改訂)	1	11,132
GPSハンドブック	1	15,895
水文・水資源ハンドブック (第二版)	1	25,300
現代物理数学ハンドブック 新装版	1	15,895
超伝導ハンドブック 新装版	1	8,415
図説 ウェーブレット変換ハンドブック 新装版	1	11,220
おいしさの科学事典 新装版	1	9,350
計算力学ハンドブック (新装版)	1	22,264
化学工学ハンドブック (新装版)	1	20,240
図説 表面分析ハンドブック	1	16,830
食べ物 香り百科事典 (新装版)	1	19,228
合 計		184,877

# 令和4年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 企画総務課

## 1 実施事業名

女満別空港広告看板掲出料及び広告面意匠変更の助成

## 2 事業の概要

- ・女満別空港2階 出発ロビーへの広告看板掲出
- ・令和4年4月の経営統合に伴い、看板広告面の意匠を変更

## 3 広告掲出状況

搭乗手続き待ちや見送り等の空港利用者に向けた広報を目的として、平成17年4月から継続して掲出しているものです。このたび令和4年4月、本学、小樽商科大学、帯広畜産大学が経営統合した「北海道国立大学機構」の設置に伴い、デザインを変更しました。

●北見工業大学(女満別空港:W3800×H800mm)



## 4 謝辞

本事業に関しては、平成17年度から長きにわたり継続してご支援をいただき心から感謝申し上げます。

今後も地域に輝き、地域に貢献する大学として邁進していく所存ですので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



## 1 実施事業名

学生支援イベント（フードバンク）の助成

## 2 事業の概要

新型コロナウイルス感染症拡大や昨今の物価高により経済的に困窮した学生に対し、令和4年10月21日（金）、22日（土）の2日間、「北見工業大学フードバンク「食に対する支援」」が本学学生を代表とするフードバンク実行委員会及び北見工業大学生生活協同組合の協力のもと開催されました。

## 3 参加者の様子

今回の開催では、「普段よりバイトのシフトが減ったことで買い物がしにくくなった」、「商品の値上げが多いので商品を買うのを渋ってしまう時がある」等、新型コロナウイルス感染症や物価高の影響により苦しい学生生活を送っていることがあらためて浮き彫りとなりました。参加した学生からは「多くの食糧を支援していただき、非常に助かった」とのコメントが寄せられ、大変喜んでおりました。



食糧品を受取る学生

## 4 謝辞

この度は皆様からのご厚志により生活が困窮している学生に、充実した支援を行うことができましたことを深く御礼を申し上げます。

北見工業大学後援会「KITげんき会」

令和4年度決算書

収入の部

項目	予算	決算	備考
会費	2,050,000	1,824,890 円	個人会員(30件) 104,890 円 法人会員(101件) 1,720,000 円
寄附金等	500,000	36,000 円	同窓会会員からの寄附(3件) 36,000 円
雑収入	500	3,869 円 (内訳) 19 3,850	預金利息 残高証明書発行手数料の振替
前年度からの繰越	3,524,419	3,524,419 円	
合計	6,074,919	5,389,178 円	

支出の部

項目	予算	決算	備考
後援会運営費	170,800	127,505 円	円
通信費	(内訳) 35,000	(内訳) 32,277	印刷物郵送送料、返信用葉書 ほか 32,277 ・総会開催通知及び 会費納入依頼送付料:23,352円 ・総会返信用葉書:6,993円 ・役員会返信用切手:1,932円
事務費	105,800	95,228	事務諸雑費 95,228 ・残高証明書発行手数料の合計:3,850円  振込手数料 ・各支援事業に係る振込手数料の合計:3,410円 ・会費納入に係る振込手数料の合計:13,718円  KITげんき会会員銘板更新費用 ・プレート作成 8,800円×4枚=35,200円 ・銘板一部修正 33,000円 ・諸経費 6,050円
印刷費	30,000	0	・R4年度はKITげんき会ニュースレターの作成なし。 0
大学援助費	2,995,000	1,920,899 円	
学生に対する支援	(内訳) 2,038,000	(内訳) 1,040,899	語学研修プログラム参加旅費の助成 (フィリピン 50,000円×2人、台湾 50,000円×7人) 450,000  協定校へ留学する学生の生活費の助成 100,000  留学生派遣の助成 (地域の各種団体等への留学生の派遣) 0 ※令和4年度は実績なし  インターナショナルCアワー開催の助成 79,986  留学生交流イベントの助成 36,036  就職支援助成 (オホーツク合同企業セミナー) 190,000  学生表彰 (地域貢献活動、ボランティア活動等への表彰) 0 ※令和4年度は受賞対象者なし  参考図書購入の助成 (学生向け図書配架用) 184,877
大学広報等への支援	957,000	880,000	女満別空港広告看板掲出料の助成 880,000
予備費	2,909,119	250,000 円	学生支援イベント(フードバンク)の助成
支出計		2,298,404 円	
次年度繰越金		3,090,774 円	
合計	6,074,919	5,389,178 円	

## 監 査 報 告 書


本会規約第6条第5項に基づき、令和4年度北見工業大学後援会  
収支簿及び預金通帳類に関する監査を行った結果、適正に処理され  
ていると認めましたので報告いたします。

令和5年7月5日

監 事

小澤 實之郎 

監 事

肩田 敏彦 

北見工業大学後援会「KITげんき会」  
令和5年度事業計画書（案）

事 業	摘 要
1 会 議	
1) 総 会	年1回開催
2 支援事業	
1) 学生に対する支援	<p>語学研修プログラム参加旅費の助成 【派遣先（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ×8人   ・フィリピン×5人</li> <li>・台湾×5人</li> </ul> <p>※派遣先は変更となる可能性あり</p> <p>協定校へ留学する学生の生活費の助成</p> <p>短期交流研修（派遣）の助成 ※今年度は受け入れ側のため予算計上なし</p> <p>留学生派遣の助成 （地域の各種団体等への留学生の派遣）</p> <p>インターナショナルCアワー開催の助成</p> <p>留学生交流イベントの助成</p> <p>就職支援助成（オホーツク合同企業セミナー）</p> <p>学生表彰</p> <p>学生向け電子ブック購入の助成</p>
2) 大学広報等への支援	女満別空港広告看板掲出料の助成
3) 北見ぼんちまつり参加への支援	北見ぼんちまつりの参加者への助成

**北見工業大学後援会「KITげんき会」**  
**令和5年度予算書(案)**

**収入の部**

項 目	予 算	備 考
会 費	2,050,000 円	個人会員(50口 × 3,000円) 150,000 円 法人会員(190口 × 10,000円) 1,900,000
寄 附 金 等	300,000 円	同窓会会員からの寄附(300口 × 1,000円) 300,000
雑 収 入	500 円	預金利息等 500
前年度からの繰越	3,090,774 円	
合 計	5,441,274 円	

**支出の部**

項 目	予 算	備 考
後援会運営費	333,900 円	円
通 信 費	(内訳) 87,000	87,000 印刷物郵送料、返信用葉書 ほか ・総会開催通知送送料: 30,000円 ・総会出欠返信用葉書: 7,000円 ・会費納入依頼送送料: 50,000円
事 務 費	89,850	89,850 事務諸雑費 ・残高証明書発行手数料: 3,000円  振込手数料 ・各支援事業に係る振込手数料: 3,000円 ・会費納入に係る振込手数料: 25,000円  KITげんき会会員銘板更新費用 ・プレート作成 8,800円 × 6枚 = 52,800円 ・諸経費 6,050円
印 刷 費	157,050	157,050 ・KITげんき会ニュースレター印刷費: 30,000円 ・振込依頼書印刷費: 127,050円
大学援助費	3,096,500 円	
学生に対する支援	(内訳) 2,288,000	1,140,000 語学研修プログラム参加旅費の助成 【派遣先(案)】 80,000円 × 8人 = 640,000円(アメリカ) 50,000円 × 5人 = 250,000円(フィリピン) 50,000円 × 5人 = 250,000円(台湾) ※派遣先は変更となる可能性あり。  協定校へ留学する学生の生活費の助成 240,000  短期交流研修(派遣)の助成(隔年) 0 ※令和5年度は受け入れ側のため予算計上しない。  留学生派遣の助成 20,000 (地域の各種団体等への留学生の派遣)  インターナショナルCアワー開催の助成 118,000  留学生交流イベントの助成 240,000  就職支援助成(オホーツク合同企業セミナー) 300,000  学生表彰 30,000 (地域貢献活動、ボランティア活動等への表彰)  学生向け電子ブック購入の助成 200,000 ※令和4年度まで実施していた「図書館配架用学生向け参考図書購入の助成」は申請せず、新規事業として「学生向け電子ブック購入の助成」を同額で申請するもの。
大学広報等への支援	627,000	627,000 女満別空港広告看板掲出料の助成
北見ぼんちまつり参加への支援	181,500	181,500 北見ぼんちまつり参加者への助成
予 備 費	2,010,874 円	
合 計	5,441,274 円	

## 北見工業大学後援会「KITげんき会」規約

(名 称)

第1条 本会は、北見工業大学後援会「KITげんき会」と称する。

(目 的)

第2条 本会は、地域と同窓会が一体となって、北見工業大学の発展及び学生の生活向上のための援助等に協力することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 北見工業大学の発展のための援助
- 二 北見工業大学の学生の生活向上等のための援助
- 三 会費、寄付金品の受理及び処理
- 四 その他必要な事項

(組 織)

第4条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する。

- 一 個人会員
- 二 法人会員

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- 一 会 長 1人
- 二 副 会 長 若干人
- 三 常務理事 1人
- 四 理 事 若干人
- 五 監 事 2人

2 役員は、総会において選任し、又は解任する。

(職 務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を統括するとともに会議を招集して、その議長となる。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 常務理事は、会計及び本会の運営上重要な事項を処理する。
- 4 理事は、本会の運営上必要な事項を審議する。
- 5 監事は、本会の会計を監査する。

(任 期)

第7条 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。但し、補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(総会及び役員会)

第8条 総会及び役員会は、年1回開催しなければならない。

但し、必要に応じて会長が臨時に召集することができる。

- 2 総会に次の事項を付議する。
  - 一 役員を選任、解任

- 二 事業計画及び事業報告
- 三 予算及び決算
- 四 規約の制定及び改廃
- 五 その他本会の運営に必要な事項

- 3 役員会は、会長、副会長、常務理事、理事をもって構成する。
- 4 役員会は、本会の事業運営及び総会に付議すべき事項を審議するものとする。
- 5 総会及び役員会の議長は、会長がその任にあたる。
- 6 総会及び役員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、役員会の議を経て、会長が委嘱する。

(事務局)

第10条 本会の事務を処理するため、事務局を北見市公園町165番地北見工業大学内に置く。

- 2 事務局には、次の職員を置く。

- 一 事務局長
- 二 事務局員

- 3 事務局長は、常務理事の職務を補佐することとし、会長が北見工業大学の教職員の中から委嘱する。

- 4 事務局員は、会長が委嘱する。

(会計)

第11条 本会の目的の達成及び運営に資する資金は、会員の会費、寄付金等をもって充てる。

- 2 会員の会費は、次に掲げるとおりとし、毎年、定められた時期に納入する。

- 一 個人会員 一口 3,000円
- 二 法人会員 一口 10,000円

- 3 本会の会計は、後援会運営費と大学援助費に区分して経理する。

- 4 後援会運営費は、後援会運営上必要な経費をいう。

- 5 大学援助費は、学術振興、国際交流、学生の生活向上等に必要な経費をいう。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(雑則)

第13条 この規約に定めるもののほか、本会に関し必要な事項は、役員会が別に定める。

#### 附 則

- 1. この規約は、平成17年11月30日から施行する。
- 2. 初年度の会計年度は設立総会日より平成18年3月31日までとする。
- 3. 初年度の役員任期は設立総会日(平成17年11月30日)より平成20年3月31日までとする。

# 令和4年度KITげんき会 法人会員名簿

(50音順 敬称略)

赤坂木材株式会社
有限会社旭防電
網走信用金庫
天内工業株式会社
株式会社天内工務店
五十嵐建設株式会社
池田煖房工業株式会社 美幌営業所
株式会社イズム・グリーン
イト電商株式会社 北見支店
NHK北見放送局
遠軽信用金庫 北見支店
大槻理化学株式会社
岡村建設株式会社
岡本建設株式会社
オホーツク技術士委員会
株式会社オホーツク大地
オホーツクビール株式会社
株式会社海田鋼材
鐘ヶ江建設株式会社
株式会社菅野組
一般社団法人北見医師会
北見管工事事業協同組合
北見金融協会
北見建設業協会
北見工業団地会
北見歯科医師団
一般社団法人北見市観光協会
北見市商店街振興組合連合会
北見市役所 部課長会
北見商工会議所
北見信用金庫
北見測量設計協会
北見地方生コンクリート協同組合
北見通運株式会社
北見鉄工協同組合
北見土木技術協会
株式会社北見ハッカ通商
北見舗装協会
金星北見ハイヤー株式会社
株式会社倉本鉄工所

株式会社グリーンズ北見
桑原電工株式会社
桑原電装株式会社
小西工業株式会社
小林株式会社
株式会社小林印刷
有限会社小林 寿司の小林
株式会社小柳中央堂
株式会社斉藤商店
株式会社坂口精肉店
佐藤電気株式会社
株式会社サン園芸
サン技術コンサルタント株式会社
株式会社システムサプライ
株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア
財団法人消防試験研究センター 北海道支部
株式会社ダイイチ
大幸建設株式会社
谷口電工株式会社
株式会社田巻美石園
株式会社つうけん 北見支店
有限会社ティーエム商事
株式会社電建 北見本社電設部
東邦コンサルタント株式会社
株式会社ドボク管理
株式会社中神土木設計事務所
株式会社中村商会
株式会社成中クリーニング
日東建設株式会社
一般社団法人日本自動車販売協会連合会 北見支部
株式会社林鉄工
株式会社バル設計事務所
東北海道いすゞ自動車株式会社 北見支店
光化成株式会社
有限会社フジサワ
株式会社舟山組
株式会社北辰工業
北辰土建株式会社
北成建設株式会社
北東電気株式会社

株式会社北洋銀行 北見中央支店
北洋建設株式会社
北海道電建株式会社
北海道ガス株式会社 北見支店
北海道銀行 北見支店
公益社団法人北海道獣医師会 オホーツク支部
北海道新聞 北見支社
一般社団法人北海道中小企業家同友会 オホーツク支部
北海道溶接協会 北見支部
北海道糖業株式会社 北見製糖所
株式会社ホテル黒部
益村測量設計株式会社
株式会社松田建業
有限会社松原新聞販売店
株式会社マルモ
水元建設株式会社
株式会社村井小泉建設工業
株式会社山腰測量設計事務所
株式会社山下金物店
株式会社吉崎工業所

※令和4年度に会費を納入いただいた法人様を掲載しております。

(退会した会員を除く)